

お申込み
10/17(金)
～
10/23(木)

受取期間
11/17(月)
～
11/29(土)

お試用

トイレパック 体験しませんか！

横浜市備蓄品トイレパック
(品質保証期間:令和8年度まで)
をお譲りします

横浜市では、災害時のご自宅でのトイレ対策として、トイレパックの備蓄をお願いしています。
備蓄されていない方に体験していただきご自宅での備蓄につなげていくため、横浜市の災害備蓄品の
トイレパック(品質保証期間:令和8年度まで)を、皆様のお試用として配布させていただくこととしました。
ぜひこの機会に一度トイレパックを体験してみてください。

● 配布対象

横浜市内の自治会・町内会

お渡しするトイレパックのイメージ➡

● 配布物

品質保証期間が令和8年度までのトイレパック

※品質保証期間が経過した場合でも直ちに使用できなくなるもの
ではありませんが、速やかに使用してください。

※不具合があっても交換・追加配布等に応じることはできません。

※お配りするものは凝固剤と汚物処理袋が1セットずつ小分けに
なっているものではありません。

● 申込可能数

1団体 200セット (200セット/1箱)

※箱の大きさ:約縦40cm×横30cm×高さ27cm

※箱の重さ:約4kg

※100セット入りの箱×2でお渡しする場合があります。

● 受取場所

資源循環局収集事務所のうち、指定された場所

※ お申込みいただいた後、受け取っていただく場所をご連絡します。

※ 配送等は行っておりません。

※ 備蓄用にはしないでください。 ※ 転売など、お試し体験以外の利用はご遠慮ください。



★ 1セット

・凝固剤 1個 ・汚物処理袋 1枚

(お配りするものは小分けになっていません)

収集事務所の
場所はこちら➡



お申込み方法は、裏面をご覧ください。 お問い合わせ先 資源循環局街の美化推進課 Tel 045-671-2555

トイレパックとは？

Q. トイレパックってなに？

断水や給排水の破損などの理由でご家庭のトイレが使えない時に、家庭のトイレなどに設置して使用する「凝固剤」と「処理袋」のセットです。使用後はジェル状になるタイプが多いです。

Q. どこで買えるの？

ホームセンターや大型スーパー・ドラッグストアなどで購入できます。

Q. いくつ用意しておけばいいの？

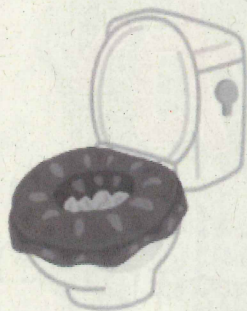
最低でも「**ひとり1日5回×3日分×ご家族の人数分**」の備蓄をしましょう。できれば**7日分**の備蓄をお願いします。

Q. 災害時、使い終わった後はどうやって処理すればいいの？

トイレパックだけを袋にまとめて、燃やすごみの収集日に出してください。(今回配布するお試用は、黒い袋ごと他の燃やすごみと一緒に半透明の袋に入れて出してください。)

お試用トイレパックの使い方

ステップ1



洋式便器に黒い袋をかぶせる

ワンポイントアドバイス

便器に黒い袋をかぶせる前に、もう1枚袋をかぶせましょう。使用済みの袋を捨てる時に、便器の水で濡れるのを防げます。

ステップ2



用を足したら凝固剤を振りかける

凝固剤を振りかけた後はしっかりと混ぜるようにしてください。トイレットペーパーも黒い袋の中に入れます。

ステップ3



黒い袋は縛って燃やすごみに出す

※ 今回配布するお試用は、黒い袋ごと他の燃やすごみと一緒に半透明の袋に入れて出してください

※ 固まらない場合もトイレには流さず、燃やすごみに捨ててください

お申込み方法

● 横浜市電子申請・届出システムからお申込みください

<https://shinsei.city.yokohama.lg.jp/cu/141003/ea/residents/procedures/apply/c7a39ee9-c4c9-4ca5-979b-f8fb39d7b339/start>

電話やFAX、メール、郵送でのお申込みは受け付けておりません。



● お申込み期間 令和7年10月17日(金)～10月23日(木)

- 受取決定 ご指定いただいた連絡先に、11月4日(火)頃までに受取決定等(抽選となった場合は当選・落選の別)のご連絡をさせていただきます。全体の希望数が在庫数を超える場合は抽選とさせていただきます。

- 受取期間 令和7年11月17日(月)～11月29日(土)
(日曜日を除く、各日午前9時から午後4時 ※ 午前11時30分から午後1時30分を除く)
受取場所は、こちらから指定させていただきます。

社協

みなみ

誰もが安心して自分らしく暮らせる
地域社会をみんなでつくりだす



発行日：令和7年10月1日

発行：(福) 横浜市南区社会福祉協議会 会長 吉井 肇

TEL：045-260-2510 FAX：045-251-3264

<https://www.minami-shakyo.jp/>



“じぶんの町をよくするしくみ”
赤い羽根共同募金が、
今年も10月1日から始まります！

赤い羽根共同募金は、

南区内で集まった募金の約7割が、南区内の子どもたちや高齢者、障がいのある方などを支援するさまざまな福祉活動に役立てられます。残りの3割は、県内全域で活動する福祉団体への助成や災害時のボランティア活動支援にも役立てられています。

南区社会福祉協議会では、区内16地区社会福祉協議会への活動助成や南区ふれあい助成金（トモニー助成金）、南区サンプロジェクトの財源に共同募金配分金を活用しています。

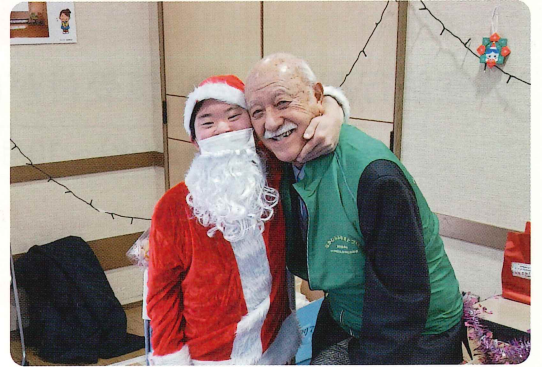
つかいみちの詳細は、
二次元コードより
「赤い羽根データベース
はねっと」を
ご覧ください。



共同募金PR大使
野毛山動物園の
ミナミコアリクイ「ムム」



南区ふれあい助成金（トモニー助成金）
区内で福祉活動を行う団体への助成制度



南区サンプロジェクト
障がい理解の促進および障がいのある方との
地域のつながりづくり

「南区ふれあい助成金」を活用している団体からのありがとうメッセージ

未就園児とその保護者が地域の中で安心して集える場所をつくり、利用者同士の新たな出会いや交友を深めるきっかけになることを目指して活動しています。
安定した運営に寄付を活用させていただいています。
みなさまのあたたかなご支援に感謝申し上げます。

堀ノ内睦町地区 子育てサロン「のびのび」

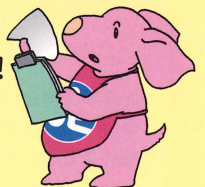
高齢者に限らず、地域の方々が交流することで生活の向上を目的としています。

助成金をいただいたことで折り紙、ぬり絵等の物品の充実、そして安心して足を運んでいただける居場所の提供ができました。
ありがとうございます。

別所地区 高齢者サロン「サロンみちくさ」

みなさまのご支援が、地域の困りごとを解決するための大きな力となります。

今年も赤い羽根共同募金へのご理解ご協力ならびに地域福祉活動の応援をお願いいたします！



お知らせ



みなみクリスマス ボランティア募集

経済的な事情で思い出作りが難しい南区内のご家庭を対象に、子どもたちのクリスマスの思い出作りを手伝ってくれる方を募集中！サンタ以外の役割（ナビ役など）もあります。まずは、説明会・講習会にご参加ください。

活動日 12月25日(木)
15時集合 20時頃解散予定

詳細はこちら



説明会日時 11月8日(土) 10:00～12:00
11月9日(日) 10:00～12:00
11月15日(土) 10:00～12:00

※いずれかに参加 ※申込必須

説明会会場 南区福祉保健活動拠点 多目的研修室

対象 ・16歳以上で子どもと接することが好きな方
・夜間、荷物を持ち、衣装を着て1～3時間程度歩ける人
※高校生参加OK ※説明会参加必須

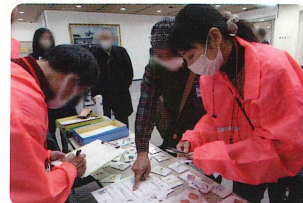
その他 希望者にボランティア活動証明を発行します。

主催 みなみクリスマス

南区災害ボランティアネットワーク 会員募集

災害ボランティアセンターの設置運営について
一緒に考えてみませんか？

●災害ボランティアセンターとは
災害が発生した際に、被災した方々や地域を支援するために設置される、ボランティアの受け入れ拠点です。会員は災害ボランティアセンターの運営をお手伝いします。ほか、防災に関する広報活動もイベント等を通して行っています。



▲シミュレーション訓練の様子

定例会 毎月第2木曜日 17:30
(見学も大歓迎。事前にご連絡ください。)

会費 年 500円

申込・
お問合せ

南区ボランティアセンター
(南区社会福祉協議会内) **045-260-2531**
受付：月～土曜日／9時～17時（祝日・年末年始を除く）

善意銀行配分金の申請について

善意銀行配分金の申請受付がはじまります！

申込期間：9月16日(火)～10月17日(金)

地域の皆さまから頂いたご寄付を、南区内で活動する地域福祉団体の活動支援として配分を行います。配分希望の団体は南区社協までご相談ください。※随時相談を受付けています。

対象団体

- ・地域福祉の推進を目的とし、原則として活動拠点が南区にある団体
- ・構成メンバーが5名以上かつ、過去1年以上の活動実績がある団体
- ・令和8年1月～12月の期間内に配分金活用ができる団体
- ・南区ふれあい助成金を除く、他団体からの助成金を受けていない団体

配分区分

A：備品購入や修繕に関する整備費

- 対象 ①ボランティア等市民活動団体・NPO法人
②障がい当事者・家族団体
③地区社会福祉協議会
④その他、南区社会福祉協議会理事会在配分を必要と認めた団体

配分金額 必要経費の2/3以下で10万円以下



B：区域で活動しているネットワーク組織の活動運営費

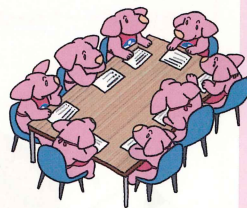
対象 区域で活動しているネットワーク組織 配分金額 上限10万円

福祉教育 実施募集について

地域や職場、教育現場にて
福祉教育を実施してみませんか？

●福祉教育とは

「【ふ】だんの【く】らしの【し】あわせ」
をつくるための学びです。
福祉教育の対象は教育現場のみならず、
地域や職場など、どなたでも対象です。



南区社協では、障害当事者の方のお話を実際に伺い、自分に出来ることは何かを考える「障害当事者講話」、認知症サポーターの方々による認知症のメカニズムや認知症の方への接し方を学ぶ「認知症サポーター養成講座」を行っています。その他にもご希望に応じた対応が可能です。お問合せお待ちしております。

●詳細について

下記ホームページにも掲載しておりますので、
ぜひご覧ください。
<https://minami-shakyo.jp/work/education/>

▼HP



申込・
お問合せ

南区社会福祉協議会
(代表) **045-260-2510**
受付：月～金曜日／9時～17時（祝日・年末年始を除く）

令和6年12月21日～令和7年6月30日

善意銀行寄付者

皆さまのご寄付は、身近な地域の支えあい活動を進めるための貴重な財源と活動支援として、福祉のまちづくりに生かされています。

善意銀行ご寄付をいただいた方々（※敬称略・順不同）

- ・横浜太極拳同好会
- ・南区ダンススポーツ連盟
- ・特定非営利活動法人 六ツ川ふれあい福祉の会
- ・手芸ボランティア すずらん
- ・南餅つき大会実行委員会

- ・南区吟剣詩舞道連盟
- ・オシャレ工房 KBN 株式会社
- ・横浜市六ツ川地域ケアプラザ
- ・一般社団法人 バンクフォースマイルズ
- ・大山弘命神社教会

- ・市川 晴雄
- ・たかし
- ・力久 ひかる
- ・嶋中 貴光

ありがとうございます！



みなみ青指だより

南区青少年指導員協議会

南区青指 🔍 検索



第2回 みなみ桜まつり2025

春らしい晴天の蒔田公園で、令和7年3月22日(土)、23日(日)にみなみ桜まつりが開催されました。桜はまだ開花しておらず、少し寂しい様子の公園内でしたが、暖かい休日ということもあって、メンバー集合時間の11時頃には比較的多くの家族連れの皆様で賑わっていました。

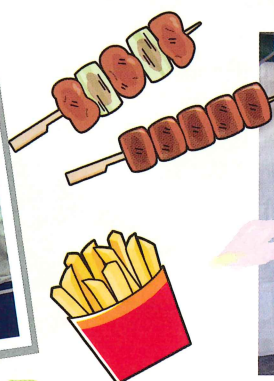
山崎会長の掛け声で、それぞれの持ち場に分かれて準備開始。今回は例年同様の焼きそば、焼き鳥にあげパンとフライドポテトの揚げ物に加え、かなり豪華な出店となりました。青指には本職顔負けの職人、が複数人いるため、作り手がその技を伝承されており、手際よく、そして美味しく提供するために、まさに料理人の顔になっていました。



14時の販売開始前にもかかわらず、すでにブースの前には長蛇の列ができており、我々も気が引き締まりました。購入までに長時間お待たせしていることに申し訳ない思いながらも笑顔を忘れず、自身の役割を全うしながら、チームワークで一生懸命食品を提供していきました。

22日(土)は19時までの開催で、日が暮れると公園の雰囲気も変わり、特に灯がともった、区民の方々の描いた素晴らしい絵どうろうの作品が幻想的でした。来場者も一つひとつゆっくりと鑑賞しながら、桜まつりを堪能し帰路についていたようでした。

(山田)



南区区連会承認第8号



第2回 みなみ桜まつり2025

つつき



日が変わり 23 日になりました。この日は5年ぶりに中学生たちにボランティアとして参加してもらいます。青指のメンバーも一緒に活動できるのをとても楽しみにして、この日のために綿密に計画を練ってきました。

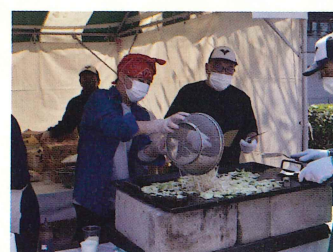
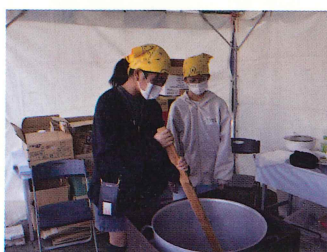
集合時間の 9 時が近づくや青指のブース前に子どもたちが集まってきました。みんなやる気に燃えて引き締まった表情をしています。9 時になり山崎会長の挨拶の後、各々担当するブースに移動、そこで青指の大人たちから作業内容や作業手順、事故が起きないように注意事項のレクチャーを受けていよいよ作業開始です。みんな和やかに、かつ真剣な面持ちでブースごとにいろいろな作業に励んでいます。

10 時になり祭りが始まるとすぐに各ブース前に長蛇の列ができました。それを見て全員テント内の暑さに負けないくらい、さらに活気づいていきます。特に焼き鳥のブースでは焼き鳥を焼く中学生と青指の姿はまるで弟子と親方の関係に思えるほど風格がありました。

お昼が近づくや青指特製カレーの出番です。ブースの中で順次休憩をとって子どもも大人もカレーライスに舌づみを打ちながら午後の作業に向けてエネルギーチャージをしていました。

15 時の販売終了時刻を待たずに完売しました。

(伊東 (由))



南区・御殿場ふれあいキャンプ2025

事前練習会



令和7年6月14日(土) 18時より、南区役所にて南区・御殿場ふれあいキャンプ2025に向けた事前練習会を行いました。当初は三ツ沢公園青少年野外活動センターにて実践的に行う予定でしたが、あいにくの天気となり急遽、区役所での実施となりました。講師には公益財団法人よこはまユースの大槻繁美氏をお招きし、キャンプファイヤー等を安全に楽しく行うための学びを深めました。

まずは昨年のキャンプ写真を見ながら、子どもたちが持つトーチ棒の角度、火の渡し方やキャンプファイヤーへ火を入れる際の注意点、キャンプファイヤーの組み方など、課題の整理をしました。具体的に、火をもらう前の油が染み込んだトーチ棒は“へそより下に向け持つ”こと、点火後は“斜め前方に上げる”こと、火を渡す際は“同じ高さにて対面で行う”こと等、話がありました。

座学のあとは、実技でキャンプファイヤーの組み方を教わりました。『井桁(いげた)型』という薪を縦横交互に積んでいく組み方と、『ダイヤモンド型』と呼ばれる薪を円錐状の組み方を、併せて組むことがポイントとのことでした。井桁型には火を持続させる、ダイヤモンド型は火をつくる役割を担うとのこと、井桁に組んだ薪には火をつけないことも重要とのことでした。また、安全に行うためには事前に子どもたちへ説明し、練習することがもっとも重要とのことでした。

実技を教わったあとは、キャンプファイヤーの流れを確認し、レクリエーションを盛り上げるアドバイスもいただくことができました。

大槻氏は最後に「地域活動として開催するこのキャンプでは、子どもたちに学校とは違う体験ができる場づくりをして欲しい」と話され練習会は終了しました。この会で学んだことを、ふれあいキャンプで活かすことができたのかは次号で報告させていただきます。

(森田)





全市一斉統一行動パトロール(南が丘中学校区)

南が丘中学校区では、令和7年7月28日(月)に南が丘中学校正門に集合し、パトロールを実施しました。

参加者は、地域の安全推進委員の方々、自治会役員の方々、南が丘中学校校長及び先生方、同校PTAの方々。青少年指導員は、山崎会長をはじめ六ツ川地区3名、別所地区2名で総勢17名となりました。

南が丘中学校校長先生の挨拶に続き、同校生徒指導の先生からお話を伺い、19時に正門を出発し、イトーヨーカドー別所店、京浜急行線ガード下、大岡川遊歩



道など人の集まりそうな場所を注意しながらパトロールを行いました。最後は、上大岡赤い風船のゲームセンターを確認し、パトロールを終了しました。結果として異状や問題はありませんでした。

(松尾)



区内

小学校児童支援専任教諭 中学校生徒指導専任教諭

等との打ち合わせ会

令和7年6月27日(金) 蒔田中学校区の打ち合わせ会が、蒔田中学校校長室にて開催されました。学校からは校長含め4名の先生方の参加、青指から蒔田地区、太田地区、井土ヶ谷地区の3名の参加となりました。

初めに青指から地域での活動の紹介がありました。蒔田中学校からは今「学校・地域コーディネーター」が発足されていて、地域との関わりを深めていこうとの取り組みが行われているとの紹介があり、その一環として防災の観点から地域との連携を図っていったらどうか、との考えを聞かせて頂きました。内容の濃い充実した打ち合わせ会となりました。

(門井)



編集後記

当たり前に出ていた「米」が高いです。今まで主食で困ることはないと思っていましたが、このまま手の届かない食材になってしまうのではと考えてしまう位、米の高騰が続いています。毎日「米」のことを考えている自分がいることに気づきました。スーパーではまず米の売り場を見ている。今まで知らなかった銘柄もたくさんありました。この際、いろいろな産地の「米」を食べてみようと思っています。新たな発見が楽しみです。

(山田)

令和7年度下半期、青指行事予定

- 9月20日 青少年指導員研修会(港北区)
- 11月29日 神奈川県青少年指導員大会(湘南地域)
- 12月7日 第45回ボイス・オブ・ユース(青少年の主張)
全市統一行動キャンペーン活動
- 1月18日 南区青少年指導員協議会全員研修会
- 3月15日 横浜市青少年指導員大会

編集委員

- 広報部会長
北 永 田 地 区
- 広報部会員
お 三 の 宮 地 区
太 田 地 区
太 田 東 部 地 区
寿 東 部 地 区
中 村 地 区
蒔 田 地 区
井 土 ヶ 谷 地 区
南 永 田 山 王 台 地 区
永 田 み な み 台 地 区
六 ツ 川 地 区
六 ツ 川 大 池 地 区
本 大 岡 地 区
別 所 地 区
- 広報部会担当役員
六ツ川大池地区会長

- 加 藤 春 哉
- 岡 田 圭 司
- 原 淳 一
- 今 井 馨 太 郎
- 小 林 大 雅
- 竹 尾 博 和
- 畔 柳 邦 彦
- 門 井 由 美 子
- 山 田 智 久
- 伊 東 由 和
- 森 田 裕 之
- 青 木 慶 一
- 内 田 正 幸
- 松 尾 英 司
- 伊 東 俊 一



編集発行/南区青少年指導員協議会
事務局/横浜市南区地域振興課内
TEL 045(341)1238



令和7年度 南区青少年指導員研修会開催



令和7年5月17日(土)13時より、南区役所にて令和7年度 南区青少年指導員協議会研修会を行いました。今回は、青指メンバー47人の参加のもと、南消防署から渡邊係長、宮地係長ほか5名の方々が来られ、「ケガの予防対策」と「応急手当」について講義および実技の指導をして頂きました。

まず、渡邊係長による講義では、傷病者の救急搬送が増加しており、その実態としては一般的なケガによるものも多いため、事前にその危険性を知っていれば、かなり防止できるのではないかとのことです。ケガをしないためには事前準備と安全確認がまずは大事で、とりわけ子どもに対しては安全教育や活動中のみまもりが重要になります。また、情報の共有も大事です。

ケガが発生した場合は、適切な応急手当(止血、やけど、熱中症、骨折、胸骨圧迫等)が必要になり、詳細をお話いただきましたが、横浜市の「家庭防災員研修テキスト」で検索すれば見ることができるとのことです。

講義の後は、4〜5人のグループに分かれて、実技指導を受けました。まず、ケガなどで倒れた人を安全な場所に搬送する方法を学びました。担架がなくても毛布一枚で安全に搬送する方法、2〜3人による徒手搬送を行う方法などを学びました。心肺停止状態の場合は、直ちに心肺蘇生のために胸骨圧迫(心臓マッサージ)、AEDによる処置を行います。ただ、AEDは必ずしも近くにあるとは限らないので、とにかく救急車が到着するまで(平均9分)、胸骨圧迫をし続けることが何より大事になります。

今回学んだことは、普段の生活の中においても重要なことですが、これからの時期は海や山などで活動することも増えるため、皆が知識として持っていることが必要だと思いました。このことは、青指の活動にも生かして行きたいと思いました。

なお、詳しくはインターネットのサイト(よこはま防災e-パーク)をご覧ください。



よこはま防災
e-パーク

(今井)

令和6年度 横浜市青少年指導員大会



令和7年3月9日(日)、関内ホールにて「横浜市青少年指導員大会」が開催されました。

主催者として横浜市青少年指導員協議会から辺見会長、横浜市から山中市長にご挨拶いただきました。

続く永年勤続者顕彰では、長きにわたり活動された305名に感謝状が贈られました。

南区顕彰者(16名)

- 30年顕彰: 保坂 彰一、山崎 直宏、根葉 直行
- 25年顕彰: 増田 厚子、吉川 昌代
- 20年顕彰: 竹内 祐治
- 15年顕彰: 青木 慶一、新井 浩、越中谷 真喜
門井 由美子、加藤 春哉、目黒 明子
若林 雅人
- 10年顕彰: 飯田 富二夫、守屋 雅幸、関口 康治

敬称略



第二部の記念講演では、元神奈川新聞報道部デスクの田崎基氏をお招きし、「青少年の生きづらさと闇バイト」というテーマで講義いただきました。

「トクリュウ(匿名・流動型犯罪組織)」という言葉が浸透しつつありますが、根底にあるのは暴力団対策法などによる反社会組織の資金調達が闇バイトにシフトしていること、貧困や孤独にあえぐ若者がSNS等で応募してしまう構造があるとお話しされていました。

貧富の格差の増大や、ネット環境での不適切なサイトの取り締まりが不十分などの社会構造から、貧困と孤独に対するこれまで以上の支援が必要と感じられました。

(畔柳)

交通安全活動だより

一般社団法人 南交通安全協会
横浜市南区大岡2-31-4 南警察署内
発行責任者 045-741-3262
一般社団法人 南交通安全協会
会長 長谷川 史 浩

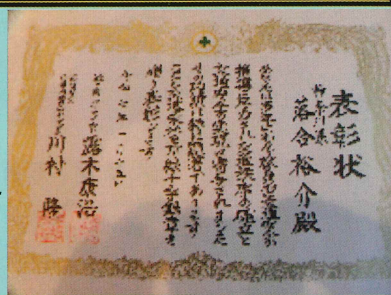


優良安全運転管理者

落 合 裕 介 氏

交通栄誉章「緑十字銀章」受章

1月15日(水)文京シビックセンターにおいて「第65回交通安全国民運動中央大会本会議」が行われ、落合裕介氏が優良安全運転管理者として交通栄誉章「緑十字銀章」を受章しました。



令和7年地域交通安全活動推進委員の委嘱式

1月30日(木)午後1時30分から神奈川県公安委員会より南警察署管内地域交通安全活動推進委員に委嘱された21名の委嘱式が南警察署において、大場泰彦署長の下執り行われました。



安心・安全環境パトロール活動

3月23日(日)午前10時から南交通安全協会会長谷川史浩会長ほか役員一同は、大岡川の桜の花見客がより一層安心・安全で快適に花見が楽しめるよう大岡川の沿道のパトロール活動を実施しました。



春の全国交通安全運動

令和7年4月6日(日)から4月15日(火)までの10日間

交通事故死ゼロを目指す日 4月10日(木)

スローガン ヘルメット かぶるあなたは かっこいい

運動の重点

- 1 こどもを始めとする歩行者が安全に通行できる道路交通環境の確保と正しい横断方法の実践
- 2 歩行者優先意識の徹底、ながら運転等の根絶やシートベルト・チャイルドシートの適切な使用の促進
- 3 自転車・特定小型原動機付自転車利用時のヘルメット着用と交通ルールの遵守の徹底

春の交通安全運動キャンペーン 4月8日(火)午前10時30分～

高澤南区長の参加を頂き、「大岡原っぱ」において「弘明寺かんのん通りふるさと大使」である野田クリスタルさんに南警察署の一日警察署長の委嘱式が行われ、交通安全イベントを行い、その後、弘明寺商店街に移動し、啓発物を配布しながら交通事故防止を訴えました。

〔一日警察署長の委嘱式〕

〔交通安全イベント〕

〔弘明寺商店街での交通事故防止を訴え行進〕



は ま っ 子 交 通 安 全 教 室

4月18日(金)大岡小学校

4月25日(金)太田小学校

4月28日(月)井土ヶ谷小学校

4月30日(水)石川小学校



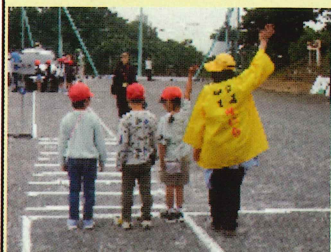
5月1日(木) 南太田小学校 5月2日(金) 日枝小学校 5月8日(木) 南吉田小学校 5月12日(月) 藤の木小学校



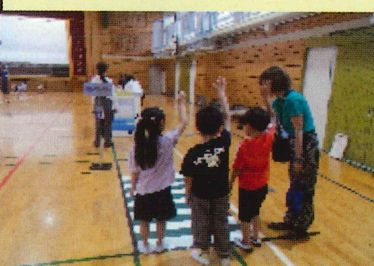
5月13日(火) 南小学校 5月15日(木) 永田小学校 5月16日(金) 別所小学校 5月23日(金) 永田台小学校



5月27日(火) 蒔田小学校 5月29日(木) 六ッ川台小学校 6月5日(木) 六ッ川西小学校 6月6日(金) 六ッ川小学校



6月10日(火) 中村小学校



※自転車安全利用の五則

- 1 車道が原則、左側を通行、歩道は例外、歩行者を優先
- 2 交差点では信号と一時停止を守って安全確認
- 3 夜間はライトを点灯
- 4 飲酒運転は禁止
- 5 ヘルメットを着用



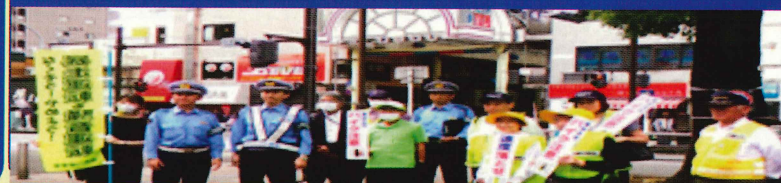
※安全運転五則

- 1 安全速度を必ず守る
- 2 カーブの手前でスピードを落とす
- 3 交差点で必ず安全を確認する
- 4 一時停止で横断歩行者の安全を守る
- 5 飲酒運転は絶対しない



二輪車交通事故防止南署と伊勢佐木署との合同キャンペーン実施

6月4日10時から横浜橋商店街入口大通公園周辺にて南署と伊勢佐木署との合同で二輪車交通事故防止キャンペーンを実施しました



夏の交通事故防止運動

○期間 令和7年7月11日(金)～7月20日(日)
○スローガン ～ 交通ルールを守って 夏を楽しく安全に ～
○運動の重点

- 1 安全運転意識の向上
- 2 こどもや高齢者を始めとする歩行者の安全確保

3 飲酒運転の根絶

～元気に楽しくシルバードライブ～
交通事故防止のための秘訣

- ① 心と時間にゆとりを持った運転！
- ② 油断大敵 近場の交差点こそ要注意！



夏の交通事故防止運動キャンペーン

7月11日(金) 午前10時から大岡地区センタースポーツセンターにおいて、NHKお母さんといっしょ11代体操のお兄さん小林よしひささんをゲストで招き、夏の交通事故防止運動キャンペーンを実施しました。

